

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010010

政策目標	2 ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 国保病院事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A	
単位施策	5 地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	医師確保対策事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	14 国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	地域医療体制の維持		#N/A	
事業目標	常勤医師3名	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有 国保病院運営委員会	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	●医師確保対策 ・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費
	事業費(千円)	2,560	500	515	515	515
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	2,560	500	515	515	515
実 績 事 業 費	事業費(千円)	4,361	4,361	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	1,000	1,000			
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	3,361	3,361				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	国保調整交付金	【評価・実績】	●民間医師紹介業者への求人 求人 ●非常勤医師紹介業者からの 仲介派遣			
			※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	872%	0%	0%	0%
	全体達成率	170%	170%	170%	170%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	医師確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	常勤医師数	
【抱える課題やニーズは】	常勤医師の確保による安定した医療体制の確立	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常勤医師を確保し、安定した診療体制とともに安心感のある医療の提供をめざす	① 常勤医師3名	目標年度	平成25年度
			目標値	3人
【その結果、どのような成果を實現したか】 ※成果=目的	町民への安定的な医療提供が可能となり、町民の健康・安全等の確保が図られる	②	実績値	2人
			達成度	66.7%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	常勤医師確保	医師求人情報掲載(有料ホームページ等)、医師紹介業者からの仲介派遣等	目標年度	平成25年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安定した医療体制を維持していくためには必要な事業であり、地域医療体制の確保は町としての責務である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	内科医については常勤医師の確保が困難であったが、非常勤常勤形態により町民の受診機会の確保が図られたため、概ね有効な事業である
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	効果的な方法を常に検討しながら対応しているが、医師不足の現状からは直ちに確保が図られるという状況ではない困難性が生じているが、概ね効率的な事業執行となっている
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

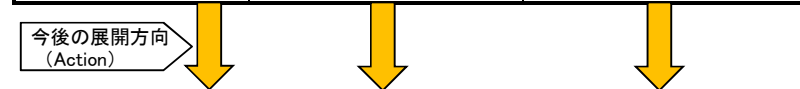
公平	判断の理由	町民全員に受益が及ぶものであり、公平性について支障ないものである
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
常勤体制の確立には及ばなかったが、内科医の非常勤常勤体制による安定的な診療体制が図られたことから、上記評価とした		



継続/現状維持		
内科常勤医師確保のため、引き続き本事業により対策を講じていく必要がある		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止